

科目名	老年看護Ⅱ (高齢者の看護、日常生活援助技術)					DP3 DP4 DP6		看護高等課程
学年	1 年	分野	専門 老年看護	時間数	21 時間	担当 教員	寺坂 和代 (5) 中島 珠美 (16)	
科目概要	基礎看護技術Ⅶ(看護技術統合演習)と運動した事例を活用し、ケアの対象者である高齢者を正しく理解することを主眼に、老化に伴う諸機能の低下により起こる、高齢者の心身の変化を捉え、出来るだけ自立した状態で生活が送れるように、高齢者の日常生活における援助ニーズを理解し、高齢者の特性をふまえた援助と観察方法を学ぶ。また、治療を受ける高齢者に対する理解を深め、老年期に発症しやすい健康障害と看護について学ぶ。							
到達目標	1. 老年者の日常生活上のニーズを理解する。 2. 老年者の特性をふまえた日常生活援助と観察の方法を理解する。 3. 検査・治療に伴う看護、高齢者に多い疾患の看護を理解する。							
回数	単元項目			授業内容			形態	担当教員
1～3	高齢者の日常生活における援助技術			観察、コミュニケーション(難聴・視覚障害)、運動・移動、睡眠、食事、排泄、清潔、衣生活、アクティビティケア、高齢者のセクシャリティ (基礎看護Ⅷ事例：呼吸機能障害の技術演習と運動)			講義 演習	寺坂
4～10	高齢者の病態と疾患の看護			認知症、うつ状態、骨粗鬆症、変形性膝関節症、脊柱管狭窄症、大腿骨頸部骨折、高齢者に多い慢性疾患、悪性腫瘍、感染症			講義	中島
	リスクマネジメント			高齢者特有のリスクマネジメント、高齢者に多いリスク(緊急時の対応を要する高齢者の看護、災害看護)			講義 演習	
	検査・治療に伴う高齢者の看護			検査、薬物療法、食事療法、手術療法に伴う看護			講義	
	運動機能障害を支える看護			骨粗鬆症、大腿骨頸部骨折の高齢者の看護			講義	
11	試験(1時間)						試験	
評価基準	寺坂(15点)・中島(85点)の計100点満点とし、6割以上を合格とする。また、授業時間数の3分の2以上の出席が必要となる。							
評価方法	出席状況と講義演習への参加態度、課題レポート、筆記試験などで総合的に評価する。また、シミュレーション演習、パフォーマンス課題、ルーブリックに基づき、ポートフォリオの内容等も総合的に評価を行う。							
教科書	看護学入門 11 老年看護 必要時、資料等は配布する。							
履修上の 注意点								